



明るく元気なあいさつをしよう。時間を守り、機敏な行動をしよう。

体験から学ぶもの

校長

今年も校長室入口の軒にすずめが巣を作り、勢いよく飛び立つ羽音に毎日驚かされています。昨年の今頃は、ひなのさえずりが聞こえていましたが、今年はまだのようです。それでも、また来てくれたなど可愛らしい来客を喜んでいます。

5月は、磯研修や春の一日遠足、スケッチ大会、たけのこ採りなど、硫黄島の自然を思い切り肌で感じ体験する行事がたくさんありました。風を感じながら、見て、聞いて、触れて、五感を働かせて自然の中で活動し、学習できる環境の素晴らしさを実感する日々です。生い茂る竹を手でよけ、滑らないように足場に注意しながら竹を探す作業、子供たちに「気を付けて」といいながら、私自身が足をとられそうになることもありました。クモやトカゲやムカデに驚きながらも竹採りに熱中し、手にいっぱい竹を抱えて満足気な表情の子供たち。友達、保護者や地域の方々、そして本校の職員、みんなで一緒に活動することもまた、子供たちの笑顔を輝かせているのだと思います。また、今年の一歩遠足は、恋人岬まで歩き、そこからの素晴らしい景色を眺めながら休憩、天気にも恵まれ、道々会話を楽しみながら歩きました。小学校の低学年の子供たちには少し大変かなと思っておりましたが、皆、元気いっぱいでした。休憩のあとは、冒険ランドに向かい、薪でごはんを炊き、カレーを作ってみんなでおいしくいただきました。火熾しに少し苦戦し、煙にむせながらも、みんなで協力しておいしいカレーが完成しました。自分たちで作った食事は格別、屋外で食べる解放感も手伝って、皆、食欲旺盛でした。別の班のカレーと食べ比べてみたり、楽しい一日になりました。三島小中の子供たちは、自然豊かな環境の中で学び、様々な体験を重ねています。そのことは、観察力を磨き、知識をより確かなものとし、思考力を高めることにつながると考えます。硫黄島の特色を生かしながら、これからも工夫ある指導を行い、確かな学力、豊かな心、逞しい体を育てていくよう取り組んでいきます。

楽しい授業がいっぱい！

小中連携の良さを生かして・・・



ALT (英語)



栄養教諭 (食育)

新学期も一ヶ月が過ぎましたが、学校ではいろいろな行事が行われています。三島小中学校では、小中連携を生かした授業の充実を目指して職員が楽しい授業作りを目指しています。英語の時間にはカシス先生が来校され楽しい英会話の学習を小学生もともに学びました。また、食育の学習では東郷先生が来校し、分かりやすい資料を使って授業をして下さいました。また、5月11日には授業参観も行われ、それぞれの学年が工夫した取組をしていました。本校では総合的な学習の時間など、中には小中学生が協力して取り組む授業もあります。そこでは中学生が優しく小学生を導く姿も数多く見られ、三島小中学校ならではの良さを感じられます。今後とも楽しい授業作りに取り組んでいきたいものです。



総合的な学習の時間



授業参観 (低学年)

絆深めた PTA 磯研修・・・海老の味噌汁も格別の味！

5月15日は恒例のPTA 磯研修が行われました。まずは親子ふれあいの体験活動でしたが、竹採りと魚釣り体験に分かれて楽しく実施できました。魚釣りは大漁というわけにはいきませんが、焼き魚にしておいしくいただきました。また、筍と伊勢エビの味噌汁は味も格別、夕暮れの冒険ランドで楽しく会食できました。



企画していただいた PTA の皆様、本当にありがとうございました。

豊かな自然の恵みに触れ合えるこうした機会をこれからも大切にしていきたいと思えます。7月には釣りやカヤック体験もあります。海を生かした活動が今後も楽しみです。

美しい自然をみんなで守ろう！

14日の土曜授業では海岸清掃を実施しました。本校は青少年赤十字の加盟校でもあります。海岸のゴミ拾いをする中で、郷土の自然を守る大切さを学びました。



赤十字の誓い！！



気持ちあふれる絵を描こう！

硫黄島の良さを自然の美しさを絵に描こうと呼びかけたスケッチ大会！

子供たちは楽しい絵画の時間になったのでは・・・と思えます。

港や牧場・寺社・ジャンバスケット



など子供たちは思い思いに場所を選びペンを走らせていました。

春の遠足心地よく硫黄島の自然を満喫！

天候にも恵まれた恋人岬までの散歩道、そして冒険ランドでカレー作りをして、みんなニコニコの一日でした。

同じ材料でも微妙に違うカレーの味、そこは仲良く食べ比べをして、みんな仲良しの子供たちです。



PTA 奉仕作業実施！

ありがとうございました。いつも多大なご協力をいただき感謝しています。学校もきれいに生まれ変わり、子供たちが気持ちよく過ごせる環境が整いました。



お母さんありがとう！
今年も鹿児島市の田知行義久さんからすてきなカーネーションをいただきました。心を込めて感謝の気持ちを表せたようです。



まがすんばり

三島小中学校も全職員がそろいました。さらにパワーアップして新たな出発です。

早いもので、5月もまもなく終わろうとしています。少し活動をすると、汗が吹き出てきて、季節の移ろいを感じます。校庭の木々の緑も深みを増し、草花も日に日に丈を伸ばしています。学級園や玄関には子供たちが植えたサルビアや日々草などが元気に育っており、彩りを添えてくれています。また、校長室の入口の軒には、すすめが巣を作り、ひなのさえずりが心地よく響き、癒してくれます。草木や鳥たちも活発に活動していますが、三島小中学校の児童・生徒も毎日、瞳を輝かせて、生き生きと学校生活を送っています。

5月は、学校行事やPTA活動、子ども会活動で、海岸清掃、春の一日遠足、校内スケッチ大会、磯研修やたけのこ採りなど、様々な体験活動が行われました。天候に恵まれず、予定していた日に実施できず延期したり、一日遠足は校内で実施したりするなどしましたが、いずれの活動もたいへん充実したものになりました。校内スケッチ大会では、島内各所に分かれて、思い思いに郷土の風景を描いていました。普段見慣れた景色も、いつもとは少し違った角度から見てみたり、じっくり観察してみると、思いがけず新たな発見があったのではないのでしょうか。そして、硫黄島の素晴らしさを改めて感じる事ができた一日になったのではないかと思います。

また、磯研修やたけのこ採りは、保護者の皆様や地域の方々の協力のもと、素晴らしい活動になりました。山に入り、たけのこを収穫する体験は、他の地域ではなかなかできるものではありません。どれくらいの大ささのたけのこを収穫すればいいのか、最初に説明を受け、「さあ、やるぞ!!」と私も意気込んで収穫に向かいましたが、なかなか思うように見つけることができません。子どもたちの方が、上手に見つけて収穫していきます。やはり、経験にはかないません。日常の生活の中で、さまざまな経験を重ね、たくましく成長していく子どもたち、その姿に、この素晴らしい子どもたちの可能性を引き出し、伸ばしていくために、「学校も頑張っていかなければ」と、思いを強くすることでした。

さて、6月に入ると、早速、中学生は職場体験学習、小学6年生は修学旅行があります。普段とは違った環境の中で、他の学校の生徒や多くの人と接しながら、学び、感じることもたくさんあることでしょう。多くのことを吸収して、帰って来てくれることを、今から楽しみにしています。